

ETC2.0

JJ1SXA/池

平成 26 年 4 月から普及が進んだ、ETC のバージョンアップ版の、ETC2.0、一寸古い情報ですが、平成 2018 年 3 月時点で、16.1%の普及率とのことで、まだまだ旧式の ETC を使っている人が多いようです。

現在実施中の ETC2.0 の新サービスには、どんなものがあるのか調べて見ました。

圏央道の通行料金が、従来の ETC 比 2 割引きの料金で通行できるようで、圏央道を頻繁に利用する人には大きなメリットです。

一時退出が可能

SA や PA の混雑緩和や周辺地域の活性化を目的に、道の駅のような休憩施設への立ち寄りの場合に限り、IC で一時退出が可能となります。

条件は ETC2.0 搭載車で、全行程同一の ETC カードを使用

対象の IC やスマート IC で、一度退出した後に同方向を再度利用する場合

対象の IC やスマート IC 退出後、1 時間以内に同一 IC から再流入

対象の道の駅に必ず立ち寄ること、ただし、まだ実証実験の段階であるため、対象となっているのは以下の 3 施設のみです。

関越自動車道・高崎玉村スマート IC～道の駅「玉村宿」

新東名高速道路・新城 IC～道の駅「もっくる新城」

山陽自動車道・徳山西 IC～道の駅「ソレーネ周南」

今後導入予定の ETC2.0 のサービス 退災害時や事故時、または給油目的などで高速道路を一時退出して再進入した場合、退出せずに連続して走行したと同じ料金(通し料金)として計算されます、これにより、高速道路周辺の飲食店などにも寄りやすくなります

渋滞を避けたルートを選択すると料金割引、ETC2.0 では走行情報が取得されるため、渋滞を避けてルートを走行した際に料金が割引されるというサービスが検討されています。

ETC2.0 は、色々のサービスを提供していますが、現在の価格はどのくらいかと、ネットで調べたら、¥12,000～¥13,000 位から、¥30,000 までと、幅広い価格帯になっています。

私の場合、このくらいのメリット(現在のサービス)では、費用対効果でいっても、導入は見合わせです(早い話、お金が勿体ない hi)

